



スターチャイルド《金沢文庫ナーサリー》

*** 評価結果 ***

2015年3月

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関第26号 横浜市福祉サービス第三者評価指定機関第17号

評価実施機関：特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター

〒231-0013 横浜市中区住吉町 2-17 金井ビル 201号

TEL045-228-9117・FAX045-228-9118

<http://www.yresearch-center.jp>



実施概要

事業所名	スターチャイルド《金沢文庫ナーサリー》
報告書提出日	2015年3月10日 (評価に要した期間 5か月間)
評価機関	特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

*評価方法

-
- | | |
|-----------------|---|
| 1. 自己評価 | <p>【実施期間：2014年10月11日～12月10日】</p> <ul style="list-style-type: none">・評価機関が説明に来園し趣旨等説明した後、非常勤職員へは園長から説明し、各個人で勤務時間内に記入した。各個人が記入したものをもとに、運動会の午後の時間を利用し、2グループに分かれ、意見交換しながら1項目ずつ確認・合意した。・これを持ち寄って、リーダー・事業の担当者・園長で協議・合意してまとめ本部で確認後提出した。 |
| 2. 利用者家族アンケート調査 | <p>【実施期間：2014年12月20日～12月23日】</p> <p>配付：全園児の保護者（40家族）に対して、園から手渡しした。
回収：保護者より評価機関に直接返送してもらった。</p> |
| 3. 訪問実地調査 | <p>【実施日：2015年1月20日、1月27日】</p> <p>■第1日目</p> <ul style="list-style-type: none">①午前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。②午後：職員ヒアリング（クラスリーダー1名）書類調査～事業者面接調査（施設長、主任）、 <p>■第2日目</p> <ul style="list-style-type: none">①午前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。②午後：職員ヒアリング（主任、クラスリーダー4名、栄養士、非常勤職員1名）～事業者面接調査（施設長、主任） |
| 4. 利用者本人調査 | <p>【実施日：2015年1月20日、1月27日】</p> <ul style="list-style-type: none">①訪問日両日とも各クラスの午前中の保育時間を中心に、食事、排せつ、午睡の状況、登降園の様子などを観察。②乳児については主に観察調査、幼児については観察と食事の時間などに適宜聞き取り調査を実施。 |
-

評価結果についての講評

(高く評価できる点、独自性のある点、今後期待される点、工夫改善点などについての総括)

【施設の概要】

スターチャイルド 金沢文庫ナーサリー は京浜急行線金沢文庫駅から徒歩3分のところにある、複合ビルの4階にあります。株式会社みつば より平成24年4月に開設されました。交通に便利で、駅前商店街を通った先にあり、園の周辺には沢山の公園がある立地となっています。

園の施設は、大きな一つの空間になっていて、区切りとなるのは中央にある事務室と0歳児室、幼児用トイレです。保育室は仕切りがなく、玄関を入れて前の事務室を囲むように、右から4・5歳児室、3歳児室、1歳児室、2歳児室から玄関へとつながって一目で園全体を見渡すことが出来き、キッズデザイン賞を受賞したデザインです。施設の右側は日が差し込み明るい大きなガラスの天井で、電動式調光ブラインドで採光を調節しています。また、園はビルの最上階にあり屋上を園庭として使っています。

定員は66名(産休明け児～5歳児)です。延長保育を実施していて、開園時間は、平日は7時～20時、土曜日は7時～18時です。

保育理念は「わたしたちは、子どもたちの無限の可能性を信じ、意欲を引き出し、伸ばす保育を実施します。」と定め、理念を基に保育方針・保育目標を「 良く考え、心身ともにたくましい子(自立と挑戦を支援します) 個性の豊かな子(個性を尊重し長所を伸ばします) やさしさと思いやりのある子(社会性=人と関わる力を身につけます)」としています。

1. 高く評価できる点

子どもたちは、明るく元気よく遊びながら様々なことを学んでいます。

子どもたちは自由保育の時間に、マットの上でブロック遊びをする子ども、おままごとでお弁当を作る子ども、テーブルで本を読む子ども、塗り絵をする子どもなど、友達と遊んだり一人で好きなことをしたりしている姿がみられます。保育士の膝の上で本を読んでもらい、絵本に親しむ姿もみられます。

天気の良い日は、それぞれの公園の特徴や気を配る事を記載した「お散歩安全マニュアル」を基にして、目的に応じて選んだ公園に散歩します。1歳児は保育士に散歩中、覚えた言葉を話しかけ、公園ではベンチを電車に見立て、運転席の男児が「どうぶつえんゆき」と行き先を言い、他の子どもたちの乗り降り姿が見られます。幼児は元気よく公園を駆け回り、また2歳児も坂道を一生懸命歩き脚力を身につけています。公園の行き先は凧揚げしたい、ボール遊びをしたいという子どもの要望で変更する事もあります。夏期は毎日屋上まで階段を昇り降りして、プール遊びをしています。

体育指導年間カリキュラムにそって、幼児は隔週に1回の外部の体操講師による体操でマットや跳び箱を使って体を動かし、縄跳びも沢山飛べるようになりました。同様に外国人講師による、英語の時間は遊びや歌、リズム遊びなどを通して英語に親しみ、文化の違いなども学んでいます。

幼児クラスは栄養士と保育士で作成した食育計画に基づいて、月に1回クッキングを実施しています。

三角巾にエプロンを身に着けて、季節の食材を使った、そら豆おにぎり、かぼちゃクッキー、きのこ汁などを作る調理を体験しています。また、農家の協力で収穫したサツマイモでスイートポテトもクッキングしました。

保育士は1歳児が自分で出来る事を少しずつ、自分でできるように働きかけています。2歳児になると保育士の援助のもと、自分の洋服をたたむことが出来るようになります。幼児は保育士との関わり中で生活の流れをつかんで、自分たちできちんと進めていて、保護者アンケートでも「基本的生活習慣の自立に向けての取り組み」は「満足」と「どちらかといえば満足」と全員が回答しています。

職員は子どもたちの一人一人の気持ちを大切に保育しています。

子どもたち一人一人が尊重され、保育士は子どものしたい事を大切に考えて保育しています。職員はシフトの配置や職員会議での話し合いにより、子どもの状況を保育士同士で共有していて、担当クラスの子どものだけでなく園全体の子どもたちを良く理解して適切に声掛けをしています。送迎時には、保護者に子どもの園での様子を話し、保護者アンケートでも一日の様子を教えてくれるので迎えに行くのが楽しみという回答がありました。

保育士は子どもの様子を見て一人一人にあった支援をしています。トイレで上手にできた子どもは褒めて、パンツやズボンをはきやすい様に並べて置いておきます。発達差はありますが、それぞれが身の回りの出来るところからしています。みんなで使うトイレのスリッパを脱いだ際に、保育士は「仲良しにおこうね（揃える）」とその場で声をかけ、子どもたちは自然に気を配る事を身に着けています。

子どもとのコミュニケーションでは、子どもの気持ちを汲み取る姿勢がみられます。友達に服を引っ張られて泣く子どもの背中をなでながら、子どもの言い分を聞いてから相手の気持ちを代弁していました。給食を食べ終わるのが遅くなった子どもをせかすことなく、食べ終わった子どもたちと話したり、年齢によって本を読んだりして終わるのを待ち、みんなが一緒にごちそう様をする様子は、あたたかな、大きな家族のようでスキンシップ・コミュニケーションの姿勢があらわれています。

2. 工夫・改善が望まれる点

保護者への情報発信のより一層の工夫が望めます。

園では連絡ノートを通じて保護者に園での様子を伝え、月1回の園だよりでクラスの様子を伝えています。また、送迎時には保護者と話をしている、子どもの様子を伝える事に感謝の言葉もありますが、中には感染症の情報伝達について掲示に加えて「ひと言言ってくればよかった」という意見や、玄関に職員の名前付顔写真が掲示していますが「職員の名札希望」という意見など、園が行っていることが、保護者に伝わっていない状況が見られます。天気の良い日には子どもたちは活発に活動していますが、運動量を心配している保護者もいます。保護者の不安を取り除き、保護者に安心感が伝わるよう、情報の伝え方の工夫が望めます。

さらなる地域子育て支援が期待されます。



保育士や子どもたちは散歩で会った地域の人と積極的に挨拶を交わし、公園では地域の親子と遊び、会話している姿が見られます。また子どもたちは近隣の商店に食材の買い物に行き、商店の人と触れあうなど、地域に溶け込む努力をしていますが、地域住民への情報提供や育児相談に応じることは積極的にはなされていません。園が培った育児に関する知識、職員の豊富な経験と技能をいかして、定期的に相談日を設けて子育ての相談に応じたり、地域住民に向けて身近な離乳食など子育て支援の講習会の講師をしたりするなどの地域貢献が期待されます。



分類別評価結果



「ひょう太マーク」は、各評価分類の水準を表しています。
 3 つ：高い水準にある 2 つ：一定の水準にある 1 つ：改善すべき点がある

評価領域 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
- 1 保育方針の共通理解と 保育課程等の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育理念は「わたしたちは、子どもたちの無限の可能性を信じ、意欲を引き出し、伸ばす保育を実践します。」と定めています。保育方針・目標を「良く考え、心身ともにたくましい子（子どもたちの自立と挑戦を支援します）・個性豊かな子（子どもたちの個性を尊重し、長所を伸ばします。）・やさしさと思いやりのある子（社会性＝人とかわる力を身につけます。）」としていて、利用者本人を尊重したものとなっています。 ・ 毎月の職員会議、カリキュラム会議の前に全職員で保育理念を唱和し、運営会社研修・園内勉強会で理念・方針について研修をして理解しています。園の玄関にも保育理念を掲示しています。 ・ 保育課程は保育理念・保育方針・保育目標に基づき、一人一人の子どもや発達過程や家庭状況を踏まえるなど、子どもの最善の利益を大切にしています。保育課程に基づき乳児・幼児と共通項目を定め、年齢ごとに発達段階や継続性を踏まえ、年間を四期に分けた年間指導計画や月間指導計画を作成しています。 ・ 言葉で伝えられない子どもの表情やしぐさから意思を汲み取り理解するよう努め、幼児は個々の主張を大切に丁寧に聞き取るようにしています。子どもの意見・要望を聞いて指導計画の見直しに活かし、指導計画は柔軟に対応しています。例えば、この前の続きをしたいと言う子どもの要望を聞き入れてボール遊びや縄跳びを取り入れています。
- 2 子どもの発達や状況に 応じた適切な援助の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入園前の面接では子どもの既往症、体質、成育歴、家庭での状況を聞き、更に乳児は家での呼び方や寝かしつけ方、離乳食、好きな歌やおもちゃなどを聞いて、園での保育に活かしています。 ・ 短縮保育（ならし保育）は、初日は親子で慣れてもらい、子どもの様子や状況に応じて保育時間を徐々に延ばしていくようにしています。また、子どもに合わせた慣らし保育の実施を丁寧に説明し、保護者の事情にも考慮しています。 ・ 0、1、2 歳児は複写式の所定の連絡ノートを使用し、保護者に毎日の子どもの様子を丁寧に連絡しています。保護者も家庭での様子を記入し相互に理解を深めています。3 歳児以上は個別の連絡ノートを使用し必要な時に連絡をしています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月間指導計画や個別指導計画は、子どもの発達や状況に応じて作成し、評価や見直しをして、次の計画を作成しています。指導計画の評価・改訂にあたっては、連絡ノートや朝夕送迎時の保護者の意見や要望を取り入れるようにしています。乳児の場合は、離乳食の進め方やトイレトレーニングを始める時期など、保護者と相談しながら一人一人の指導計画を立てています。
<p>- 3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士は衛生管理マニュアルに基づいて、保育室を毎日清掃し、保育室以外もチェックリストに基づいて清掃を行い施設内は清潔に保たれています。施設内の温度・湿度の管理は、エアコン、加湿器付き空気清浄器で日々適切な温湿度を保つように配慮し、床は床暖房が施されています。 ・ 窓と、高いガラスの天井から陽光を取り入れる構造になっていて、明るい日差しの中で遊び、午睡時はカーテンや電動式調光ブラインドで調節しています。 ・ 沐浴設備を設置し、沐浴室、幼児用トイレに温水シャワーを設置していて、おむつかぶれ予防や汗を流す時、体が汚れた際やおもらしの時等に使用し、使用后洗浄・消毒をしています。 ・ 低年齢児は、パーティションなどで仕切りを作り、小集団保育が出来るよう工夫しています。特に0歳児には静かな環境を保证するように配慮しています。 ・ 食事と午睡の場をそれぞれ確保して、個々の子どものペースで食事や午睡が行われるように配慮しています。
<p>- 4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3歳未満児については、一人一人の発達を考慮し、子どもの様子、保育者の援助と配慮等を記入して毎月、個別指導計画を作成しています。幼児については、特別な課題がある子どもや気がかりな子どもの場合には、月間指導計画の中に、個人別配慮として作成しています。毎月のカリキュラム会議で一人一人の子どもについて話し合い、子どもの発達状況に合わせて、柔軟に対応しています。個別指導計画は保護者と連携をとり、同意を得て作成しています。 ・ 子どもや家庭の個別の状況・要望は、発達記録、状況確認表、児童健康台帳、歯科健康診断票など決められた書式に記録しています。入園後の子どもの成長発達記録は、乳児は毎月、幼児は3か月毎に担当が「発達記録」に記入しています。子どもの記録内容は月1回のカリキュラム会議で全職員が周知、共有していて、個別ファイルは事務所の鍵のかかるロッカーに収納しています。 ・ 重要な申し送り事項は記録し、進級時に担当が決まり次第申し送りをするだけでなく、3月中に会議を開き、話し合いの機会を作って伝えています。

- 5

保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ・ 特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れる姿勢があります。受け入れた時の個別ケースについては、カリキュラム会議で担任より報告があり、会議で話し合い全職員が共通理解をしています。特に配慮を要する子どもの保育に関する外部研修など参加した職員は、研修報告書を作成して、職員間で情報を共有するとともに、保育に活かしています。
- ・ 園内に段差はなく、車いすも使用できるトイレを備えています。保育室は個別に区切られておらず、バリアフリーになっています。横浜市南部地域療育センターなどと連絡を密にして、担当者から助言や情報を得ています。障がいの特性を考慮した個別指導計画を作成し、障がいのある子どもが在籍するクラスには専任の保育士を配置しています。障がい児保育について研修し、カリキュラム会議で情報を共有し、全職員で話し合える体制が出来ています。
- ・ 虐待の定義は「児童虐待対応マニュアル」を職員会議で読み合わせて、全職員に周知しています。施設長が窓口となり行政や児童相談所と対応する体制が出来ています。虐待に至らないように、日頃から保護者と連絡を取り合い、家庭支援が必要と思われる保護者には、ゆっくり話を聞き相談にのり、保護者のサポートを心がけ虐待の予防に配慮しています。
- ・ アレルギー疾患のある子どもの場合、かかりつけ医の診断書に基づき適切な対応をしています。職員は食物アレルギーの研修を受け、職員会議では「食物アレルギー誤食事故防止マニュアル」を読み合わせています。毎月の除去食献立表を保護者に渡して連携を密にしています。除去食を提供する場合は、名札のついた色付き専用トレイ、色付き食器を使用し、調理室内、配膳時、保育室でチェックをして提供しています。
- ・ 現在は、文化や生活習慣が違う子どもが在籍していませんが、在籍していた時は、違いを認め尊重し、その国の基本的な言葉を職員会議で勉強するなどして工夫しています。今後も文化や生活習慣の違いを他の子どもが理解する必要があるれば、適切に対応することにしていきます。

- 6

苦情解決体制




- ・ 入園時に「苦情・要望の対応について」を保護者に配布し、施設長が説明しています。また、保護者には、第三者委員（2名）に直接苦情を申し立てることが出来る事を「入園のしおり」や掲示で周知を図っています。自分から意見を表明するのが困難な保護者に対して職員は、日頃から話しやすい雰囲気を作り、コミュニケーションをとるなど、常に保護者の思いに耳を傾け、相談できるよう配慮しています。
- ・ 要望や苦情を受け付け対応するための仕組みはマニュアルとして文書化しています。園単独で解決困難な場合には、運営会社で依頼している外部の相談機関や金沢福祉保健センター、金沢区こども家庭支援

課に相談する体制が作られています。

- ・ 玄関に意見箱は設置しています。これまで苦情・要望は少なく園単独での蓄積はありませが、運営会社全体で過去の苦情・トラブルや要望のデータを整理して解決に活かしています。

評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 園の玄関から右側に3、4、5歳児の幼児クラスの保育室、左側に0、1、2歳児の乳児クラスの保育室があり、1、2歳児と幼児クラスの各保育室は、可動式の棚で仕切られています。棚には、絵本、パズル、おもまごとなどが密閉容器で整理されて置かれ、ブロックやミニカーなどはカゴに入れています。登園後や降園前の時間では、ぬり絵、トランプ、かるたなどの机上遊びのコーナーを作り、クッション性のある敷物のところにもブロックやおままごとのコーナーを作り、子どもたちは好きなコーナーで遊んでいます。 天候によりますが、毎日のように散歩を活動に取り入れています。クラスごとや異年齢で公園に行き、ブランコ、滑り台、砂場などで遊んでいます。砂場の横では、保育士が地面に絵を描いて子どもの興味を引き出しています。地域の親子と一緒に滑り台で遊ぶ時は、危険のないように見守り、時には順番を譲るよう促しています。また、公園の環境を活かしてかけっこや探検ごっこをして遊んでいます。ベンチを電車に見立てて遊ぶ様子もみられました。 複合ビル内にある保育園のため、園庭は屋上にあります。屋上での植物などの栽培については、周辺の住民への配慮からビルの管理会社の許可がありません。そのため近隣の農家の方の協力を得て、サツマイモ掘りを行っています。農家の方から掘り方を教わり、収穫後にスイートポテトを作って甘いおやつの味を楽しんでいます。また、散歩先で集めたどんぐりや松ぼっくりなどの木の実を使って制作活動をしています。 4歳児、5歳児クラスでは、個別にクレヨン、色えんぴつ、マーカーが用意されており、ぬり絵、お絵描きなどをして遊んでいます。誕生会では、鍵盤ハーモニカ、カスタネット、タンバリン、鈴などの楽器を使って合奏を披露しています。3、4、5歳児は、外部講師による英語教室、体操教室がそれぞれ隔週1回ずつ行われています。英語教室では、信号が描いてあるパネルを使って「ウォーキング、ストップ」の合図で歩いたり止まったりしながら英語を学んでいます。また、流行している映画の主題歌のCDをかけて、保育士と一緒に歌うこともあります。 子ども同士のけんか等については、子どもが解決できるように見守り、必要な時にお互いの言い分を確かめるなど仲立ちをしています。各保育室は、棚やカーテンで仕切りをしています。各保育室は、棚やカーテンで仕切りをしていますが、気配を感じることができる空間を作っており、朝夕の時間以外にも異年齢で散歩に行く等で日常的に関わりを持つことができます。2歳児は幼児クラスに進級する準備として、トイレや手洗い、歯磨きの時に、幼児クラスの保育室を通して移動し、雰囲気を感じることがで

きるよう配慮しています。保育理念を実行するためにポジティブセンテンスを定め、「否定語、禁止語を極力使わず、肯定形による前向きな言葉かけを意識する」「スキンシップ、コミュニケーションを大切にする」を職員会議、カリキュラム会議で唱和して、子どもとの信頼関係が育つように取り組んでいます。


- ・ 天候によりますが、ほぼ毎日散歩を活動に取り入れ年齢や発達に応じて散歩の距離を変えています。散歩以外でも午睡の後や英語教室のあとなどには、屋上で追いかっこやボール遊びなど身体を使って遊べるような屋外活動を積極的に取り入れています。外部の専任講師による体操教室も隔週1回行っており、屋外活動の時には、階段を使って昇り降りしています。夏のプール遊びは、屋上に4個のプールを設置して、首までガードする帽子やタープで紫外線対策をしています。

- 1

保育内容[生活]



- ・ 調理室は、保育室から離れた場所にあります。リンゴジャム作りやきのこの味噌汁作りなどのクッキング保育を毎月行って、子どもが食事や調理に関心が持てるよう取り組んでいます。苦手なものが食べられた時には、たくさん褒めるようにしています。0歳児の子どもの食事では、主食や副食をスプーンに乗せると、自分で上手に食べる子がいました。体調が回復したばかりの乳児には、無理に食べさせることをせず、ほしがる物を食べさせていました。
- ・ 和食を中心にした食事の提供を心がけ、1月には七草粥、お汁粉、3月のひな祭りにはちらし寿司、夏はそうめんなど季節感のある食事の提供に努めています。配膳の時には、保育士が専用のエプロンと三角巾を付けて配膳し、食事の時間、場としての雰囲気づくりをしています。保育士も子どもと同じテーブルで食べており、散歩の時の話などをして会話を楽しみながら食事をしています。食器は強化磁器の物を使用し、食材は産地を明確にして発注しています。毎日、水質検査と調理済み食材の中心温度を測定し、調乳は天然水を使用しており、安全性に配慮した食事の提供に努めています。
- ・ 栄養士を含め職員全員が参加する職員会議、カリキュラム会議で喫食状況等を共有しています。系列の保育園の栄養士が当番制で献立を立てており、栄養士会議で姉妹園の残食状況等についても共有し、献立作成や盛り付け方法等に反映しています。
- ・ 献立表は、毎月保護者に配布しています。その日の食事、おやつサンプルを、玄関に掲示して保護者に知らせています。献立表の裏面には、虫歯を防ぐ食生活のアドバイスや夏に食べやすい寒天サラダの作り方などを載せて情報提供をしています。夏祭りの時には、園で提供している焼きそばを、保護者が試食できるコーナーを作っていますが、和食中心の食事を、保育参観等で試食できるような工夫も必要と思われます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 午睡の時間になると、保育室のガラスの天窗にある電動式調光ブラインドで調整をして、心地よい眠りにつけるよう環境作りをしています。乳幼児突然死症候群に対する対策として、0、1歳児は5分おき、2歳児からは10分おきに顔色、呼吸等のチェックをしています。5歳児は11月から午睡を一斉活動とせず、就学前準備として教材等を使った「45分間教室」を行っています。 ・ 散歩等の屋外活動の前には、トイレの声かけをしています。活動や遊びの途中でトイレに行きたい時は、保育士に声をかけてから行っており、個人差を尊重する配慮をしています。トイレトレーニングは、保護者と連携しながら行い、進み具合については職員会議で共有し、対応についても振り返りを行っています。0、1、2歳児の排泄の状況は、連絡ノートで個別に保護者に伝えていきます。できなくても座ることから始めるよう配慮し、上手にできた時は言葉にして褒めています。
<p>- 2 健康管理・衛生管理・ 安全管理[健康管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康管理に関するマニュアルがあります。登園の時に顔色や目の充血、鼻水、皮膚疾患の有無等を観察などで確認しています。また、登園時と午後の時間で体温を測り、37.5 以上の時は保護者に連絡をしています。降園時に園での様子を保護者に伝えていきます。 ・ 嘱託医による健康診断、歯科健診をそれぞれ年1回実施して「児童健康台帳」に既往歴とともに残しています。健康診断の時に聞きたいことなどを、事前に保護者に確認しています。健診の結果は、その日のうちに保護者に伝え、検査や通院の必要がある場合は嘱託医から助言をもらい、保護者にも伝えていきます。 ・ 感染症等への対応に関するマニュアルとして「感染症ガイドライン」を作成しています。登園停止となる感染症、保育中に感染症の疑いが生じた場合の対応等が明記されており、入園のしおりにも記載して保護者に周知を図っています。園内や近隣保育園、学校等で感染症が発生した時には、玄関に掲示して保護者に知らせています。施設長が看護師の資格を保有しており、手洗い、うがいを徹底し、嘔吐物処理セットを、いつでも使えるよう分かりやすい場所に準備しています。研修等で得た最新の情報は、各保育室に資料を置いて、共有することに努めています。
<p>- 2 健康管理・衛生管理・ 安全管理[衛生管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衛生管理に関するマニュアルがあり、給食衛生に関するマニュアルも整備されています。エアコンのフィルターは月1回清掃しており、事務室に実施の記録を残しています。1、2歳児がトイレに行った時には、床に専用のマットを敷いて使用後は、消毒薬で拭き取りを行ってから片づけています。0、1歳児の午睡用の布団は、年4回(そのうち1回は丸洗い)外部の業者に布団乾燥を依頼し、清潔な状態が保てるよう配慮しています。

- 2

健康管理・衛生管理・
安全管理[安全管理]




- ・安全管理に関するマニュアルとして「事故防止マニュアル」「事故発生時対応マニュアル」「災害時対応マニュアル」「散歩マニュアル」が整備されています。玄関には災害発生時の避難場所一覧と災害マップ、緊急時の連絡先、災害用携帯番号等を掲示して保護者に知らせています。災害発生時は、災害用伝言ダイヤルに被害状況等を残すこととしており、入園時に保護者に伝えています。災害発生時の引き渡し方法や警戒宣言発令時の措置等についても入園のしおりに記載して緊急時の連絡体制等を整えています。地震や火災を想定した避難訓練を毎月実施するほか、調理室からの出火を想定した訓練も実施しています。また、年2回実施されるビル全体の避難訓練にも参加しています。年1、2回消防士を招いてAEDのデモンストラーションを行い、使用方法等の指導を受けています。
- ・保育中に起きた事故、ケガについては、速やかに施設長に報告し、状況に応じて保護者に連絡したうえで医療機関に受診する等の対応を行っています。子どものケガについては、軽傷であっても申し送りの記録に残し、保護者に状況を伝えています。事故が起きた時には職員で周知を図り、必要な時には緊急で職員会議を行って再発防止について検討しています。ヒヤリハット報告書の提出があった事例を「ヒヤリハット報告集」としてまとめ、運営会社の全体研修会で傾向等を知らせています。
- ・当園は複合ビル内にあり玄関は常時施錠して、セキュリティーカードのない人は入室することができないようにしています。不審者対応についてのマニュアルがあり、サスマタ、防犯スプレーを常備して不審者侵入に備えています。民間の警備会社と契約を交わして、緊急時の通報体制を整えています。

- 3



人権の尊重






- ・子どもの呼び方については、入園の時に保護者に確認しています。子どもと話すときは「否定語や禁止語は極力使わず、前向きな言葉かけを意識する」を唱和して職員相互で検証し合う仕組みを作っています。
- ・子どもと一対一で話す場合は、事務室を利用していますが、威圧感を与えない配慮として保育室の一角に空間を作る等の工夫が期待されます。また、友だちや保育士の視線を気にせず過ごせる場所の確保も同様に工夫することが期待されます。
- ・JISQ15001(個人情報保護マネジメントシステム)を取得しています。個人情報の取り扱いについては、保護管理者、利用目的をホームページで明確に示し、年1回、職員に向けて個人情報確認テストを実施して守秘義務の意義や利用目的を全職員が周知するよう取り組んでいます。
- ・遊びや行事の役割、持ち物、服装などで性別による区別はしていません。子どもの好きな色、形を子どもが選べるように配慮していま

	<p>す。カリキュラム会議の時に、言葉や表現等の勉強会を行い、性差への先入観による役割意識を植え付けないよう、職員で振り返りをしています。</p>
<p>- 4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入園のしおりに保育理念、保育方針を明記し、入園時に説明をしています。玄関にも掲示して、送迎時に保護者が見られるようにしています。利用者家族のアンケートでは63.2%が「知っている」「まあ知っている」と回答しています。周知の把握等はありませんので、入園時の説明、玄関の掲示のほか、年度初めの園だよりに記載する等の取り組みが期待されます。 ・ 子どもの様子は、個別の連絡ノートで知らせています。各クラスには、保護者からの事前連絡や日中、夕方の様子を残している表があり、担任以外でも子どもの様子を伝えられるようにしています。2歳児が幼児クラスに進級する際は、クラス懇談会を行い、持ち物等の説明を行うとともにクラス全体の様子を伝えています。希望者には、個人面談を実施して個別に様子を伝えています。情報不足と感じている保護者の声もあります。定期的に懇談会を開いたり、アンケートで保護者の意見・提案を募る等の取り組みが期待されます。 ・ 保護者から相談を受ける時は、事務室で対応していますが、明確な記録としては残していません。継続的なフォローが必要な場合もあると思われるため、職員で検討できるよう書式を定める等の仕組みを作ることが期待されます。 ・ 毎月「きらきらだより（園だより）」を発行して、行事の案内や園全体の様子、クラスの様子を知らせています。「きらきらだより」には、ケガをした時の応急処置の方法や伝染性の目の病気のことなど「ほけんだより」も載せて情報提供をしています。食事の献立表の裏面には、季節の食材の情報や風邪の時の食事の工夫等を「給食だより」として載せています。ブログやフェイスブックで保育の様子を知らせています。 ・ 保育参観はいつでも可能であることを、保護者に伝えています。しかし、「保育参観をしてほしい」との声もあり、随時受け付けていることを定期的に知らせる等の周知方法の工夫が期待されます。 ・ 保護者会はなく、保護者の自主的な活動の実績ありませんが、要望があれば場所等の提供は可能であるとしています。事務室が玄関に面しており、送迎の時には、できるだけ保護者に声をかける配慮をしています。




評価領域 地域支援機能



評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金沢区が主催する「金沢区健やか子育て連絡会」に参加して地域の子育て支援ニーズを把握しています。横浜市や金沢区が主催する研修にも積極的に参加してニーズの把握に努めていますが、地域住民との交流が少なく、園に対する要望等の把握までには至っていません。 ・ 地域住民からの相談を受ける体制を整えていますが、相談事業を行っていることを広く知らせるまでには至っていません。散歩等の屋外活動の時に会う地域の親子にチラシを配布する等の工夫が期待されます。また、地域住民や地域の親子に向けて子育てや保育に関する講習会等は行っていません。廃材を使ったおもちゃの作り方や離乳食の進め方など、今後、保育の専門性を地域に還元する取り組みについても期待されます。
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見学に訪れた方から、離乳食や夜泣き等の相談を受けていますが、相談日を設けての対応は行っていません。地域住民が気軽に相談に訪れることができるよう相談日を設け、周知方法の工夫が期待されます。 ・ 関係機関や地域の団体等は、リスト化して事務室で管理しています。金沢区の福祉保健センター、南部地域療育センター等の関係機関とは、必要に応じて連携する体制を整えています。 ・ 南部地域療育センターの職員に来園してもらい、発達に不安がある子どもたちへの対応等について助言を受けています。

評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・ 地域コミュニティへの 働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 入園見学を訪れた地域の親子を、七夕に招待しています。クリスマス会のサンタ役を同じビルの事業者にお願いしました。地域の方からのおもちゃの提供や高校生の職場体験の受け入れを行っていますが、地域に向けての施設開放や備品等の貸し出しの実績はなく、地域との関わりに課題があります。園の理解促進のためにも、地域の行事等の情報を積極的に収集し、地域行事に子どもと参加したり園の行事に招待したり、友好な関係を築くことが期待されます。 消防署に見学に行き、救急救命士のユニフォームを着せてもらい、はしご車に乗って消防車の役割について説明を受けています。お泊り保育の時には、5歳児が近隣の魚屋に行って、サバを購入する体験をしています。近隣の保育園との交流保育では泥んこ遊びを楽しみ、系列園と一緒に遠足に行っています。
<p>- 2 サービス内容等に関する 情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページに園の開所時間、定員、保育内容等を載せて情報提供をしています。ブログやフェイスブックでも保育の様子を知らせています。利用希望者が見学を訪れた時には、パンフレットを渡して保育理念や保育方針等を説明しています。パンフレットは、金沢区役所のこども家庭支援課にも置いています。 電話での問い合わせには、施設長、事務職員が対応しています。その際は、見学できることを知らせて活動の様子が分かる時間帯を勧めています。
<p>- 3 ボランティア・実習の 受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 誕生会にパネルシアターのボランティアが訪れています。高校生の職場体験の受け入れもあり、来園がある時には、玄関に掲示をして保護者に知らせています。ボランティアや職場体験の高校生には、園の方針、利用者への配慮、守秘義務等について説明しています。 受け入れは施設長が担当していますが、現在のところまだ受け入れ実績がありません。

評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所運営に十分な人材構成であるかチェックし、運営会社と園が密な連携を図り人材を補充しています。運営会社の人材育成計画に理念・方針をふまえた保育を実施しています。保育スキルの向上に努めることを明記し、入職者は必ず運営会社の研修を受けています。職員は個人目標、考課シートを年2回実施し、個々の職員の資質向上に向けた目標を定め、施設長と面談して達成度を評価しています。 ・ 職員の研修ニーズにも配慮し、運営会社と協力して研修計画を作成しています。内部研修は定期的な会議時以外にも、必要に応じて感染症対策やAED使用方法など全職員に向けて実施しています。外部研修は積極的に参加して、研修を受けた職員は研修報告書を作成し、職員会議等で報告をして、全職員が共有しています。 ・ 非常勤職員にも業務マニュアルを配布して説明しています。非常勤職員は、職員と同様に内部研修に参加しています。勤務時間外で職員会議に参加できない時などは、必ず内容を伝達しています。
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員は運営会社の目標設定・スキル効果シートを記入することにより半期に一度自己評価をしています。 ・ 外部の保育専門講師に保育運営アドバイザーを依頼し保育の技術の評価、指導を受けています。 ・ 保育士等一人一人が振り返りを文章化できるように、運営会社の自己評価は書式が定型化しています。また、毎日の保育日誌は自己評価・考察を記入する欄を設け保育士が書き込み、振り返りをしています。保育の自己評価は、子どもの様子や考察・自己評価を記入して活動の経過がわかるようになっていて、子どもの成長や意欲を大切に、結果だけでなく取り組む姿勢を重視して行っています。 ・ 保育士等の自己評価の結果は、職員会議・カリキュラム会議で報告し合い、見直しや課題改善にむけて話し合い、園全体の課題については、全職員で改善に取り組んでいます。
<p>- 3 職員のモチベーションの維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経験・能力や習熟度に応じた役割として、「人材育成計画」に新任保育士・中堅保育士・主任保育士等の一般職員からリーダー社員、また求められるスキルと人材像が明文化されています。 ・ 利用者の状況に応じ自主的に判断できるよう、日常の保育や保護者の対応など、できるだけ現場の職員に任せるようにしています。施設長は年2回実施している個人面接の他、常に職員の相談に応じて、職員の満足度や要望を把握しています。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就業規則に、服務規程として職員の守るべき事項を明記しています。更にマニュアルの中に「全国保育士倫理要綱」を備えて明文化され、職員は採用時にマニュアルを渡され、研修をしています。 ・ 空き箱やトイレットペーパーの芯等の廃材などをおもちゃや制作物の素材として活用するほか、ゴミを分別し、ゴミ減量化やリサイクルを意識して行っています。エアコンの設定温度に気を配り、電灯をLEDに変え、使用していない電灯はこまめに消すなど省エネルギーの取り組みをしています。 ・ 省エネルギーや環境に配慮する取り組みは、日々の保育活動の中で実践していますが、明文化されていません。実際の取り組み例を踏まえて、事業計画や保育計画等に明記する事が期待されます。
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員に配布している業務マニュアルや園のしおり、事業計画書等に、理念や保育方針・目標は掲載していて、園の入り口の見やすい場所にも掲示しています。また、社員証の裏に理念・方針が明記されいつも携帯しています。職員は入職すると新任保育士研修で理念等の研修を受けています。本社研修、会議等では開催前に理念唱和を行っています。 ・ 重要な意思決定にあたり、施設長は必要に応じて臨時に説明会を開催するなどして保護者と継続的に意見交換をしています。重要な意思決定はもちろん、日常の保育についても保護者の意見を聞いています。 ・ 園内で異なる部門の職員がチームを組んで取り組む姿勢があります。また、系列の各園からそれぞれの職員が参加して意見交換を行うなど、各職種の職員が様々な立場から対応を検討する仕組みがあります。 ・ 運営会社が定めた「人材育成計画」に主任保育士研修があり“求められるスキル・人材像”から計画的に育成するプログラムがあります。主任はカリキュラム会議や職員の報告等から個々の職員の業務状況を把握してシフトを組んでいます。

効率的な運営



- ・ 事業運営に影響のある国の政策、県や市の施策等の情報は運営会社が収集・分析しています。各行政からのメール等の新しい情報や保育に影響のある情報を園に配信しています。重要な情報は施設長会議等で改善課題として議論し、運営面での重要な改善課題について施設長会議等で話したことを園で職員に説明しています。
- ・ 運営会社では中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成しています。次代の組織運営に備え、運営やサービスプロセスの新たな仕組みを常に検討しています。次代の施設運営に備え、次代の経営幹部を育てるために、候補となる人物を計画的に育てる「人材育成計画」を定め、後継者を育成しています。



利用者家族アンケート分析

【実施概要】

■実施期間：2014年12月20日～12月23日

■実施方法：利用者全員の家族に対し、保育園から直接手渡しで配付、評価機関に郵送で直接送付してもらった。

■回収率：配付40件、回収19件、回収率47.5%

※回収率が47.5%と約半数なので、以下の記述は必ずしも多数の保護者の意見であるとは限りません。

【結果の特徴】

保育園の総合満足度は、90%近くが「満足」と「どちらかといえば満足」と回答しています。項目別では、「入園時の面接のときの対応」、「費用やきまりに関する説明」、「お子さんが給食を楽しんでいる」「基本的生活習慣の自立に向けての取り組み」について、「不満」「どちらかといえば不満」という回答がなく、全員が「満足」「どちらかといえば満足」と回答しています。自由記述欄には、「安心して通わせることができる」「園長が積極的に子どもたちに関わってくれる」「保育士は気さくで子どもも大好きだと言っている」との声が聞かれています。保護者との連携・交流の項目では、「満足」「どちらかといえば満足」と回答している方が90%近くいますが、懇談会、個別面談についての項目では、73.7%に留まっており「懇談会を行ってほしい」「保護者の意見を聞く機会を作ってほしい」という言葉も寄せられています。

●園の保育目標や保育方針について

「よく知っている」と「まあ知っている」を併せると63.2%が理解し、知っていると回答し、その全員が「賛同できる」と「まあ賛同できる」と回答しています。

●日常の保育内容について

「遊び」については、「クラスの活動」や「友だちや保育者との関わり」「遊びを通じた健康づくり」について、94.8%が「満足」と「どちらかといえば満足」と回答しています。「園外活動」については、78.9%の「満足」「どちらかといえば満足」の回答が得られています。散歩等の園外活動を行った際の周知方法に工夫が必要と思われる。「生活」については、「保育中のケガに関する説明」について94.8%が「満足」「どちらかといえば満足」の回答がありました。

●快適さや安全対策などについて

「子どもが落ち着いて過ごせる雰囲気」「外部からの侵入」「感染症の情報提供」の項目で94.7%の「満足」「どちらかといえば満足」の回答があり、高い満足度が得られています。

●職員の対応について

「お子さんが大切にされているか」「お子さんが保育園生活を楽しんでいるか」は94.7%が「満足」「どちらかといえば満足」と回答しています。自由記述欄には、「温かい言葉をかけてくれる」「とても親切に対応してくれる」との声がありましたが、「職員により対応が違う」との声もありました。

利用者家族アンケート集計結果

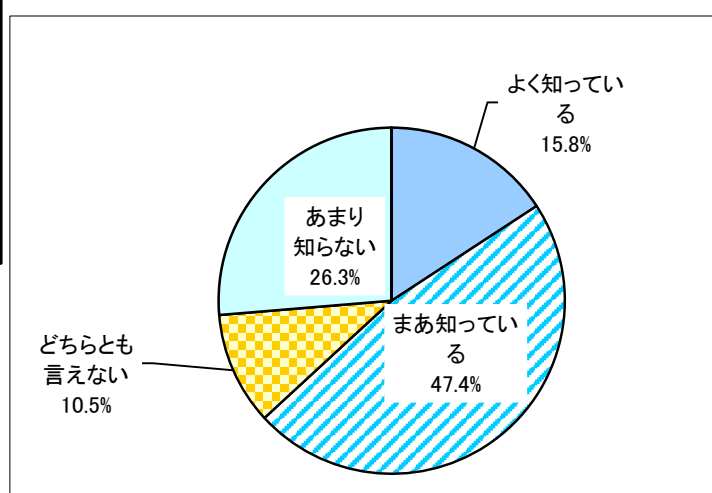
調査期間： 2014年12月20日～12月23日

回収率： 47.5%（配布40枚中、回収19枚）

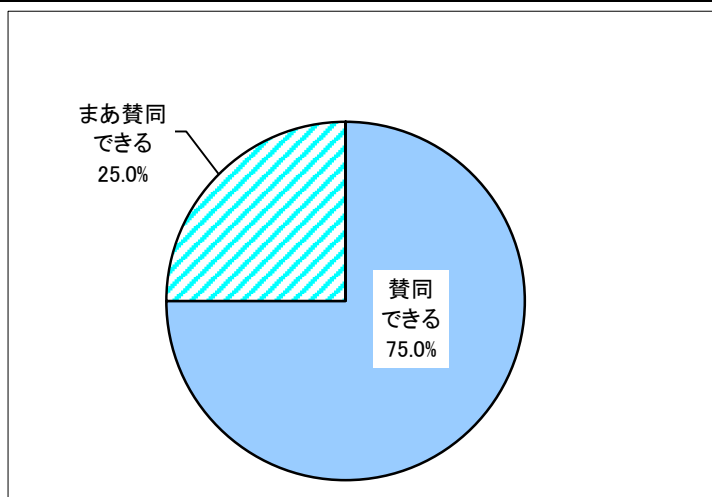
スターチャイルド
《金沢文庫ナーサリー》

	0歳児 クラス	1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	無回答	(人)
何歳児クラス	2	7	4	4	1	1	0	

問1:	よく知っ ている	まあ知っ ている	どちらと も言え ない	あまり 知らな い	まっ た く 知 ら な い	無回答	(%)
あなたは、この園の保育目標や保育方針をご存じですか	15.8	47.4	10.5	26.3	0.0	0.0	



付問1:	賛同 できる	まあ賛 同 できる	どちらと も言え ない	あまり賛 同 でき ない	賛同 でき ない	無回答	(%)
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	



問2: 入園する時の状況について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	(%)
見学の受入について	57.9	21.0	5.3	0.0	15.8	0.0	
入園前の見学や説明など、園からの情報提供について	52.6	36.8	5.3	5.3	0.0	0.0	
園の目標や方針についての説明には	42.1	42.1	5.3	0.0	10.5	0.0	
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	42.1	57.9	0.0	0.0	0.0	0.0	
保育園での1日の過ごし方についての説明	52.6	36.8	5.3	0.0	5.3	0.0	
費用やきまりに関する説明には	52.6	47.4	0.0	0.0	0.0	0.0	

問3: 年間の計画について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	(%)
年間の保育や行事についての説明には	36.8	47.4	10.5	5.3	0.0	0.0	
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか	15.8	57.9	15.8	5.3	5.3	0.0	

問4: 日常の保育内容について

「遊び」について	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	(%)
クラスの活動や遊びについては	52.6	42.1	5.3	0.0	0.0	0.0	
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	42.1	47.4	10.5	0.0	0.0	0.0	
園のおもちゃや教材については	52.6	36.8	10.5	0.0	0.0	0.0	
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	36.8	42.1	10.5	5.3	5.3	0.0	
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分持っているか	47.4	47.4	5.3	0.0	0.0	0.0	
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	47.4	47.4	5.3	0.0	0.0	0.0	

「生活」について	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	(%)
給食の献立内容については	73.7	15.8	5.3	0.0	0.0	5.3	
お子さんが給食を楽しんでいるか	68.4	31.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
基本的な生活習慣の自立に向けての取り組みについて	63.2	36.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
昼寝や休息がお子さんの状況に応じて対応されているか	63.2	21.1	0.0	5.3	10.5	0.0	
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているか	42.1	26.3	10.5	0.0	15.8	5.3	
お子さんの体調への気配りについて	57.9	31.6	5.3	5.3	0.0	0.0	
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	63.2	31.6	0.0	5.3	0.0	0.0	

問5: 快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	(%)
施設設備について	36.8	52.6	10.5	0.0	0.0	0.0	
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているか	42.1	52.6	0.0	0.0	5.3	0.0	
外部からの不審者侵入を防ぐ対策について	57.9	36.8	5.3	0.0	0.0	0.0	
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供について	68.4	26.3	0.0	5.3	0.0	0.0	

問6: 園と保護者との連携・交流について

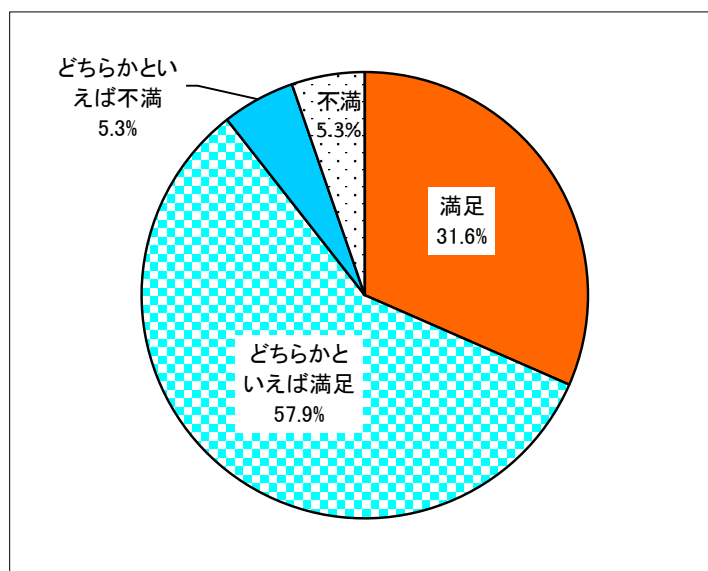
	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	(%)
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会について	21.1	52.6	5.3	5.3	10.5	5.3	
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供について	57.9	36.8	0.0	0.0	5.3	0.0	
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	68.4	15.8	5.3	5.3	5.3	0.0	
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換について	63.2	26.3	5.3	5.3	0.0	0.0	
お子さんに関する重要な情報の連絡体制について	63.2	26.3	5.3	5.3	0.0	0.0	
保護者からの相談事への対応には	47.4	36.8	5.3	5.3	5.3	0.0	
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる対応には	68.4	26.3	0.0	5.3	0.0	0.0	

問7: 職員の対応について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	(%)
あなたのお子さんが大切にされているか	52.6	42.1	0.0	5.3	0.0	0.0	
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか	68.4	26.3	5.3	0.0	0.0	0.0	
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮について	52.6	26.3	0.0	5.2	10.5	5.2	
話しやすい雰囲気、態度であるかどうか	57.9	31.6	5.3	5.3	0.0	0.0	
意見や要望への対応について	57.9	31.6	5.3	0.0	5.3	0.0	

問8: 総合的な評価

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	無回答	(%)
総合満足度は	31.6	57.9	5.3	5.3	0.0	





利用者本人調査

【実施概要】

■実施日時：2015年1月20日、1月27日

■実施方法：午前中の保育観察時間を中心に、各クラスの観察を実施、また幼児とは会話の中で適宜聞き取り調査を実施。

■0歳児クラス

0歳児クラス3名の子どもが、朝のおやつを食べています。保育士の声かけに笑顔を見せながらおいしそうに自分で食べる子が2名、ベビーチェアに座って保育士に食べさせてもらっている子が1名です。おやつが終わると散歩に出かけます。上着を着させてもらい、ベビーカーに座ると泣き出してしまう子どもがいました。ベビーカーが動き出すと程よい揺れで泣いていた子どもは寝てしまいました。散歩先の公園では、砂場で保育士と一緒に遊んだり滑り台で遊んだりしています。2歳児も同じ公園に散歩に来ました。滑り台で遊んでいた子どもは、2歳児の担任に促されて滑っています。下まで滑ったところで後ろに倒れそうになると、2歳児の担任が倒れないように支えました。支えられた子どもは保育士の顔を見てとびっきりの笑顔で応えています。砂場で遊んでいた子どもは、2歳児が来てからも自分のペースで黙々と遊んでいました。散歩から帰ると昼食の時間です。スプーンにご飯を乗せてもらって上手に食べる子どもがいたり、別の子どもは、お散歩で疲れてしまったのか、眠そうな顔をしています。離乳食になった子どもが、お豆腐を口に入れてもらおうと、不思議そうな顔をして保育士を見ている。保育士は「いつもと違うね」と声をかけています。離乳食が終わると、保育士に抱っこされてミルクを飲んでいました。

■1歳児クラス

0歳児、1歳児、2歳児合同の朝の会が終わり、おやつ後はトイレに行きます。トイレの前にはジョイントマットが2枚敷いてあり、その上でズボンと紙パンツを脱いだり履いたりします。ほとんどの子どもが自分でできています。その後、散歩に行く準備をします。職員が手作りした「帽子靴下入れ」には、子ども一人一人のマークがついており、帽子と靴下を子どもが自分で取り出します。靴下を自分で履ける子どもが多く、履けない子どもは保育士が手伝っています。散歩に行くときは、エレベーターで1階に降ります。子ども同士2人で手をつなぎ、歩きながらお話が止まりません。自動販売機を見ると「あ、自動販売機だ」「僕、ぶどうジュース飲んだことあるよ」と保育士に話しています。昨日までは自動販売機を見ても「ジュースだ」と言っていたらしく、「自動販売機も覚えたね」と保育士が子どもを褒めています。子どもたちは、いろいろな物に興味があり、花、車の色、カラス、猫など見つけては話題にしています。公園に着くと、保育士がルールを説明した後、子どもたちは一斉に走り出しました。細長いベンチを電車に見立てて運転手役の子どもが「どうぶつえんいき」と行き先を伝えると、子どもたちは乗客になって次々と乗ってきます。しばらくすると到着したらしく数人が下りましたが、運転手役の子どもはそのまま座っていました。散歩から帰ると食事が始まります。全部食べ終えた子どもが、「今日はこれとこれをおかわりする」と空っぽのお皿を見せて教えてくれました。子どもたちは、スプーンとフォークを使って自分で食べています。茶碗やお皿の中に、残りが少なくなったときは、保育士が食べやすいように集めてスプーンに乗せていました。

■2歳児クラス

2歳児はもうすぐ幼児クラスになるため、トイレや手洗いに行くときは幼児クラスを通過して行き、幼児クラスの雰囲気を感じています。幼児クラスに行く太鼓橋（通称）を通るときに泣いている子どもがいました。「服を引っ張られた」と泣く子どもに、「狭いところで前に行きたくて押したらびっくりしちゃうよ。嫌だったら“やめて”って言おうね。」と、保育士が子どもの背中をさすりながら話していました。トイレが終わると子ども同士2人で手をつなぎ散歩に出発します。エレベーターは使いません。一列に並び直して、手すりにつかまって降りていきます。一番上の手すりに手が届かない子どもは、「その下のところでいいよ」と保育士が声をかけていますが、みんなから遅れてしまいました。ゆっくり、慎重に降りていきません。ビルの入り口で待っていた子どもたちは、「がんばれ、がんばれ」と声援を送っていました。道路を渡り、踏切を超えると公園に着きました。公園では、みんなで輪になって手をつなぎ、公園で遊ぶときのルールを聞きます。その後、子どもたちは好きな場所で遊び始めます。公園には、0歳児クラスの子どもと、他園の子どもたちが先に遊んでいました。0歳児クラスのお友達と一緒に滑り台で遊んだり砂場で遊んだり、他園の子どもたちが走っている様子を見て、同じように走ったりしています。砂場の近くでは、保育士が木の棒でアニメの絵を描いている様子を子どもが見ています。公園からは電車が通る様子が見えます。青い色の電車が通ると子どもたちから「青だ」「青いよ」「青い電車だ」と歓声が聞こえました。

■3歳児クラス

登園後は幼児クラス合同で、自由に遊んでいます。テーブルで絵を描いている子ども、床に座りミニカーで遊ぶ子ども、保育士の膝に座って絵本を読んでもらう子どもなど、みんな集中して遊んでいます。泣きながら登園してきた子どもは、途中で転んでしまったようで、なかなか機嫌が直りません。保育士が新しい塗り絵を見せると興味を示し泣き止みました。朝の会のあとは、水分補給をします。お茶を飲みながら、保育士が話す今日の活動予定を聞いています。「今日はお散歩に行きます。みんなが早く準備できたら公園で長く遊べます。コップをゆすいだら、帽子をかぶります。混んでいるときはどうしようか。そう、できることからやるのね。」と準備の手順を説明され、コップをゆすいでカゴに入れると、昼食用のお手拭きタオルを濡らして絞り、テーブルに置きます。上着を先に来てからトイレに行こうとしている子どもに、「コートは邪魔だね。」と保育士が声をかけています。子どもたちは、自分で考えて行動しています。公園では、体操で身体をほぐしてから遊び始めました。凧揚げ、砂場、遊具で好きな遊びを自分で選んでいます。遊具の陰に座り込んで、バケツに砂を入れて一人遊びをしている子どもや「水を汲んでくる。水を入れると、さらさらになるよ。」と保育士に話しかけたりしている子どもがいました。

■4歳児クラス・5歳児クラス

3、4、5歳児合同の朝の会が終わり、今日の活動の説明があります。今日は外部の英語講師による英語教室の日です。3歳児クラスの英語教室のあとに4、5歳児の番です。3歳児が英語をしている間は、4歳児は制作活動をしています。深さのある紙皿に緑、黄緑色の折り紙を千切って貼り、カメを作ります。千切り方が大きい子も、細かい子もいます。紙皿に糊で貼るときも、ゆっくり丁寧に貼る子どもや指に付いた糊をすぐに洗い流したいと言う子どもがいます。5歳児は教材をします。教材の線に沿ってクルクルと線を書いています。書き終わると、色鉛筆で色を付けていきます。5歳児クラスは3名で、4歳児クラス

と一緒に活動しています。3歳児クラスの英語が始まる時に絵本の読み聞かせがあり、3歳児クラスのほうが気になっていた子どもがいましたが、活動が始まると集中していました。

3歳児クラスの英語教室が終わり、4、5歳児クラスの英語教室が始まります。椅子に座っていると英語講師から挨拶をされますが、子どもたちは、恥ずかしそうに自分の名前を言って返事をしています。自転車に乗った子どものパネルを見せて「バイスクール」「ピンク」と自転車と自転車の色を確認します。自分たちの自転車の色を聞かれ「ピンク」「青」「グリーン」と遠慮がちに返事をしています。信号のパネルでは、「レッドランプ、ストップ」「グリーンランプ、ウォーク」と教えてもらい、みんなで歩き出します。「レッドランプ」と言うと止まり、「グリーンランプ」と言うと歩き出します。輪になって止まったり歩いたりしながら、楽しそうに単語を覚えています。



事業者コメント

スターチャイルド《金沢文庫ナーサリー》は、京浜急行線「金沢文庫」駅から徒歩3分のところにある商業施設ビルの4階に、平成24年4月に開設されました。

園の周辺にはたくさんの公園があり、天気の良い日は毎日散歩に出かけています。

当園の理念にもあります「子どもたちの無限の可能性を信じ、意欲を引き出し、伸ばす保育を実践」し、子どもたちは明るく元気よく遊びながら様々なことを学んでいます。

また、職員は子どもたち一人一人の気持ちを大切に保護者の方々の想いに耳を傾け、子どもたち一人一人の気持ちを大切にしながら保育をおこなっています。

今回、はじめて福祉サービス第三者評価を受け、評価機関より実地調査及び評価報告をいただきました。これらを真摯に受け止め改善策を講じ、職員全員で保育やサービスの質のさらなる向上につながるよう努めていく所存です。

また、保護者の方々からの貴重な意見も伺うことができましたことに感謝をしております。

私たちの保育を職員全員で見直すことができ、良い機会になりました。

最後に、評価機関の方々には、私たちの保育や子ども達の行動を細部までじっくり観察いただき、言葉も丁寧に汲んでいただいたことに重ねて感謝申し上げます。

スターチャイルド《金沢文庫ナーサリー》

施設長 田村 とし子

福祉サービス第三者評価 評価機関

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第 26 号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第 17 号

横浜市指定管理者第三者評価機関 認定番号 25-01

全国社会福祉協議会社会的養護関係施設第三者評価機関 認証番号 2510-002-01

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

〒231-0013 横浜市中区住吉町 2-17 金井ビル 201 号室

TEL : 045-228-9117 FAX : 045-228-9118

<http://www.yresearch-center.jp>

